

教師の授業評価だけでは、授業は変わらない！

次期学習指導要領の柱は、「子供が主体的な授業、子供同士の対話的な授業、子供同士の深く学ぶ授業」である。授業運営が教師から確実に子供中心となる。だが、そうではない授業が続いている。原因は、現状の授業評価が教師の動きに視点を当てた評価となっているからだ。また、次期学習指導要領の総則に記述されている「見通し」「振り返り」「問題解決学習」「言語活動」「学びあい」などが評価されておらず、子供の学び方を育成する授業につながっていない。従来の授業評価項目は次の通りである。

- ①子供の学習状況を把握し、適切に対応している
- ②目標を達成するために、教材や教具が適切に使用されている
- ③目標が明確になっており、学習形態や展開を工夫している
- ④発問や説明が、児童生徒の理解や思考のために効果的に行われている
- ⑤板書が構造的で、児童生徒の理解や思考のために効果的である
- ⑥学習環境が整えられている
- ⑦教材研究されており、専門的な知識を習得させている

こうした評価項目は、教師だけの評価であり、それも感覚的、主観的、恣意的になりがちな評価項目だ。そこで、教師の指導方法のみを観る授業評価ではなく、学習の主体者である子供自身が自らを評価する方法を行うとよい。そのヒントをは、「平成 29 年度全国学力・学習状況調査 質問紙の項目」にある。

1 平成 29 年度全国学力・学習状況調査 質問紙の項目*()は、質問紙の番号

○子供が主体的に学ぶための評価項目

- ①先生から示された課題や学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか(55)
- ②授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか()
- ③友達の前で自分の考えや意見を発表することができましたか(7)
- ④意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫しましたか(75)
- ⑤友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができましたか(8)
- ⑥友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができましたか(9)
- ⑦ノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いたと思いますか(63)
- ⑧自分の考えを書けましたか(74)
- ⑨自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けましたか(76)

○子供同士が対話的に学ぶための評価項目

- ⑩授業で、学級の友達と〔生徒〕の間に話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか()
- ⑪学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか(58)
- ⑫学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動をよく行っていましたか(57)

○子供が深く学ぶための評価項目

- ⑬自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか(64)
- ⑭学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできたと思いますか。(68)
- ⑮授業の最後に学習内容を振り返る活動を行いましたか(62)
- ⑯400 字詰め原稿用紙 2 ～ 3 枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか(66)

⑩授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いません()

○平成 29 年度全国学力・学習状況調査 質問紙（学校質問紙と学力のクロス分析）

○以下と回答している学校の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

- ・児童生徒は学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている
- ・児童生徒は学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
- ・児童生徒は自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思う
- ・児童生徒に対して、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした
- ・児童生徒に対して、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた
- ・児童生徒に対して、学級やグループで話し合う活動を授業などで行った
- ・児童生徒に対して、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をした
- ・児童生徒が自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

2 これからの授業評価方法

アクティブ・ラーニングの学びが授業評価となる。そこで評価方法を子供が参画するように変えるとよい。

①子供の自身によるミニ授業反省会。評価項目は下記の項目を選んで学級で評価を行う。

②教師による授業評価反省会。出来れば子供の授業評価項目との連動を図る。

③子供と教師と双方向の反省を大切にするために、教師が子供への授業評価のメッセージを贈る。

3 子供の主体的な動きを観る授業評価

①子供のミニ授業反省会での授業評価項目例 1（適宜、評価項目を選ぶ）

学習過程	授 業 評 価 項 目 () は質問紙の項目
問いをもつ	1 課題を解くための考えを自分なりにもつことができる(55) 2 課題（資料）を読み、ペアで自分の問いを話すことができる(74)
問いの共有	3 課題解決に向けて見通しを立てることができる () 4 課題解決に向けて情報を集め、話し合いながら学習活動に取り組んでいる()
課題設定	5 子供が自ら学級全体で課題を設定することができる（クロス） 6 各教科のねらいをつかむことができる（クロス）
自力解決	7 課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思う(55) 8 自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている（クロス）
集団解決 グループ	9 グループで話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う(58) 10 自分の考えを他の人に説明したり、文章（ホワイトボード）に書いたりしている()
集団解決 全体 1	11 全体意見発表で自分の考えや意見を発表することができる(7) 12 話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えている（クロ）
集団解決 全体 2	13 自分の考えを深めたり、広げたりする（考察）ができる(68) 14 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる(9)
まとめ	15 ノートにまとめを書いている(63) 16 自分の考えを書くとき、考えの理由（キーワード）が分かるように書いている ()
振り返り	17 授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている(62) 18 自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けている(76)

②授業評価項目例 2

「今日の良かったところがありますか」「今日の課題はありましたか」「こうしたらという改善策はありませんか」

③授業評価項目例 3

「アウトプットができました」「教え教えられる活動がありましたか」「振り返りの記述をしましたか」